

7	デジタルサービス局	都市のデジタルツインの実現
事業概要	<p>デジタルツインの社会実装に向けた実証プロジェクトの実施や、有識者による検討会の開催を通じて、2030年までに9つの分野（防災・まちづくり・モビリティ・エネルギー・自然・ウェルネス・教育・働き方・産業）においてサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の融合によるデジタルツインの実現に向けた取組を推進する。</p> <p>※ デジタルツイン：現実空間で収集したデータを仮想空間に3Dで「双子（ツイン）」のように再現し、高度な分析、シミュレーションを可能とするもの</p>	
これまでの経過	<p>令和2年度に「3Dビジュアライゼーション実証プロジェクト」事業を実施し、令和3年度からは「東京都デジタルツイン実現プロジェクト」を立ち上げ、デジタルツインの実現に向けた取組を本格化させた。令和3年6月には、有識者等で構成する「東京都における『都市のデジタルツイン』社会実装に向けた検討会」を設置し、年度内の計4回の開催の中で、デジタルツインの有用性の検証や今後の目指すべき姿などについて議論を行い、その成果として「デジタルツイン社会実装に向けたロードマップ」の初版を策定した。令和4年度は、庁内の地理空間データ等を局横断的に連携するための「デジタルツイン庁内データ連携基盤」の構築を行い、令和3年度と同様に有識者検討会を4回開催、またベータ版事業として3件のテーマで技術実証をするとともに、年度末には「ロードマップ」を第2版へ更新した。</p>	
現在の進行状況	<p>デジタルツインの運用・利用拡大に向けて、新たに有識者からなる「東京都における『都市のデジタルツイン』ユースケース創出に向けた検討会」を立ち上げ、具体的なユースケース創出をテーマに、その第1回を7月に開催した。</p> <p>「デジタルツイン庁内データ連携基盤」については、本格稼働を開始し、庁内各局に向けた説明会を実施した。また、都民が実際にデジタルツインを見て体感できるデジタルツインの専用Webサイトについては、引き続き各局が管理する様々なデータを追加・更新し、データの可視化、発信する取組を実施している。</p> <p>また、本年度は「センサー等によるリアルタイム・準リアルタイムデータの活用検証」、「都市のデータ整備の新たな仕組み検証」及び「産学官でのデータ連携に向けた課題検証」の3件をテーマに技術実証を行っている。</p> <p>さらに、地物や地形などを3次元にモデル化するため、点群データの取得・整備を進め、9月に多摩・島しょ地域分をオープンデータ化するとともに、3Dビューア上にも掲載した。</p> <p><有識者検討会開催実績> 令和5年7月14日 第1回開催</p>	
今後の見通し	<p>2030年のデジタルツインの実現に向けて、庁内データ連携基盤構築や活用事例創出の取組を通じて、都庁内外のデータ連携先を拡大していく。</p> <p>また、引き続き、都市整備局と連携し、デジタルツインの基礎となる3D地形データを都内全域で整備し、順次公開、各局の事業等での活用を目指す。</p>	
問合せ先	デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課	電話 03-5320-7622